

II. 事業の概要等

1. 事業の概要

(1) 創立 80 周年記念事業

- ①平成 24 年 9 月に創立 80 周年記念式典を挙行し、80 周年記念誌を発行した。
- ②薬学教育 6 年制が完成し学生数の増加に対応するため、地下 1 階・地上 5 階建て、延床面積 5,435 m²、最上階に 4・5 階吹抜の体育館(806 m²)、3 階に食堂(652 m²・398 席)、2 階にラウンジ(691 m²・369 席)・小食堂(34 m²・35 m²・40 m²、48 席)、1 階はエントランスロビー(304 m²)・生協購買部(295 m²)・防災備蓄倉庫(81 m²)、地下 1 階は和室(43 m²)・卓球室(177 m²)を完備した 80 周年記念館(6 号館)を平成 25 年 3 月に竣工した。
- ③学部学生の経済状況急変に対応するため、「神戸薬科大学応急援助奨学金規程」を制定し、奨学金制度の更なる充実を図った。

(2) 教育環境整備

- ①卒業研究の充実を図るため、4 年次生のゼミへの配属決定を早めた。更に、卒業研究として、病院での臨床研修や在宅医療現場での在宅医療学修と(公財)先端医療振興財団 T R I (臨床研究情報センター)での医薬品臨床研究に係る研修を行い、臨床能力の向上を図った。
- ②昭和ボストン大学への海外薬学研修を単位化し、3 年次・4 年次の 3 月に海外研修を実施した。また、文部科学省の平成 24 年度私立大学教育研究活性化設備整備事業に取組名称「e-ラーニング教材利用による薬学生の総合的英語力向上」が採択され、学生用 P C 及びソフトウェアを購入し、平成 25 年度の本格稼動に向け、1 年次生に対して e-ラーニング教材を利用した授業及び自己学習のトライアルを実施した。
- ③薬剤師国家試験対策として、基礎学力向上セミナー・アドバンスト研修講座・模擬試験・総合薬学講座・国家試験直前セミナーを実施した。
- ④6 年制薬学部を基礎とする大学院博士課程(4 年制)を開設し、医療現場との連携を強めた臨床研究や創薬及び育薬研究を進め、薬学の多分野で活躍する高度な専門性を持った人材養成を目指した。入学定員 3 名に対して入学者は 6 名で、設置初年度から本課程の趣旨・目的に沿った学生を確保することができた。
- ⑤文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に大阪大学が基幹校となり採択された「地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成」に連携校として参画した。これに基づいて、大学院博士課程にがん専門薬剤師基盤育成コースを設置するとともに、平成 25 年 2 月に本学において、神戸薬科大学第 1 回がんプロ講演会を開催した。

(3) 研究推進事業

- ①平成 24 年度に「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」として採択された「疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発」の研究プロジェクトを実施した。
- ②平成 24 年度に私立大学経常費補助金(特別補助)の大学連携等による共同研究に全体として 15 件申請し、15 件の交付決定を受けた。
- ③平成 22 年度学術研究振興資金に採択された 3 年継続事業「糖鎖の修飾による動脈硬化進展機序の解明と新規治療法の開発」の最終年度の研究プロジェクトを実施した。

- ④平成 24 年度私立大学等研究設備整備費等補助金に「円二色性分散計」が交付決定を受けた。

(4) 生涯研修事業

- ①超高齢者社会を迎えるにあたり、今後、薬剤師もチーム医療や地域連携の中で在宅医療への積極的なかかわりが求められていることから、「在宅医療を支援する指導薬剤師養成プログラム」を立ち上げた。
- ②医療生涯研修支援として第 4・5 回 Student CASP Workshop in Kobe を本学で開催した。

(5) 学生支援

6 年次生対象の就職フェア・就職ガイダンス・病院薬剤師模擬面接、5 年次生対象の就職ガイダンス・模擬面接・模擬グループディスカッション、5 年次生及び 4 年次生対象のインターンシップガイダンス、全学年対象の親子で学ぶ「就活」セミナー・キャリアガイダンス・ビジネスマナー講座等を開催し、就職支援を強化した。

(6) 学外連携の推進

① 神戸大学との連携事業

1) 共同研究・教育開発システム部門

神戸薬科大学、神戸大学医学部医学科・保健学科との合同実施科目の「初期体験臨床実習」と「IPW 演習」を実施した。

2) 薬剤師レジデント部門

2 年目の薬剤師レジデントは、神戸薬科大学の実務実習事前教育と神戸大学医学部附属病院での病院実習の指導補助を行い、3 月に修了した。また、3 月には本学を会場に「第 2 回薬剤師レジデント交流会ー明日への夢をつなごうー」を神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部、兵庫医科大学病院薬剤部と共催で開催した。

3) FD・SD 部門

医薬品に関する危機管理の合同研修を両大学教職員、神戸大学医学部附属病院医療従事者を対象に「患者相談のコツと医療事故発生後の患者-医療者のコミュニケーションについて」のテーマで神戸大学医学部附属病院にて平成 25 年 2 月 19 日に開催した。

- ②平成 24 年 5 月にベトナム・ハノイにおいてベトナム教育訓練省国際教育開発局と学術交流協定を締結した。

- ③平成 25 年 1 月に大学院博士課程にがん専門薬剤師基盤育成コースの開設を目指し、大阪薬科大学大学院薬学研究科との授業科目の相互履修に関する協定を締結した。

- ④平成 25 年 2 月に小林聖心女子学院高等学校、賢明女子学院中学校・高等学校との連携に関する協定を締結した。

- ⑤平成 25 年 3 月に米国・ボストンにおいてマサチューセッツ薬科健康科学大学と学術交流に関する覚書を締結した。

- ⑥平成 25 年 3 月に神戸市垂水区医師会と連携に関する協定を締結した。

(7) 施設・設備整備計画

80 周年記念館(6 号館)建築工事、3 号館 3 階実習室の改修、10 号館 2 階第 4 実験室ドラフトチャンバー(2 台)の設置、アイソトープ実験施設ガンマ線測定器の更新、ホストコンピュータシステムの更新、エネルギー監視システムの設置を実

施した。

(8) 自己点検・評価

自己点検・評価委員会が中心となり、大学評価（認証評価）改善報告書を平成24年7月に作成し、大学基準協会へ提出し平成24年8月に受理された。また、平成25年3月に「改善報告書検討結果」の通知を受領した。

(9) 中期計画

財務基盤の拡充

80周年記念館（6号館）建築工事に第2号基本金引当資金（教育環境整備資金）全額を充当した。今後の校舎建築改造、改修に備えて資金の充実を計るため、新たに第2号基本金引当資金（教育環境整備資金）へ2億円を組み入れた。